

# 司文庫

～特色ある世界の書物～



## 豊橋市中央図書館

〒441-8025 豊橋市羽根井町48番地  
TEL 0532-31-3131 / FAX0532-31-4254  
URL (パソコン) ● <http://www.library.toyohashi.aichi.jp>  
URL (携帯) ● <http://www.library.toyohashi.aichi.jp/mobile/mobile.html>

## 司忠氏略歴



故司 忠氏

### 明治

26年 10月 5日 ● 渥美郡豊橋町大字八町216番戸に出生。生家は1,000年以上続いた伊勢神宮の神領の司であった。

39年 9月 ● 高浜尋常高等小学校高等科を退学。  
10月 5日 ● 丸善株式会社(以下「丸善」)入社。

### 大正

11年 5月10日 ● 結婚。

### 昭和

- 4年 9月 ● 丸善名古屋支店長となる。
- 14年 3月 ● 丸善本社支配人となる。
- 15年 8月 ● 丸善取締役となる。
- 9月 ● 豊橋の安久美神戸神明社に赤鬼面と鼻高面を奉納する。
- 22年 1月 ● 丸善専務取締役となる。
- 10月 ● 丸善取締役社長となる。
- 27年 6月 ● 東京商工会議所副会頭となる。
- 28年 4月 ● 緑綬褒章受章。
- 33年 4月 ● 社団法人日展監事となる。
- 34年 4月 ● 文部省国立西洋美術館評議員会評議員となる。
- 35年 7月 ● 文部省社会教育審議会委員となる。
- 36年 10月 ● 文部省国語審議会委員となる。
- 37年 11月 ● 産業振興功勞により、藍綬褒章受章。
- 39年 12月 ● 日仏文化交流に貢献したことにより、フランス政府から芸術文化勲章を贈られる。
- 40年 4月 ● 産業振興功勞により、勲二等旭日重光章受章。
- 46年 9月 ● 丸善取締役会長となる。
- 11月 ● 勲一等瑞宝章受章。
- 48年 9月 ● 丸善相談役となる。
- 50年 11月 ● 豊橋文化賞受賞。
- 54年 3月 ● 陶磁器コレクション943点を豊橋市へ寄附。
- 6月 ● 豊橋市名誉市民となる。
- 58年 10月 ● 東京都名誉都民となる。
- 60年 10月 ● 日本のデザイン界の発展に寄与した功績により、国際デザイン・アワード名誉賞受賞。
- 61年 5月 1日 ● 逝去。(享年92歳)

## 司文庫のあゆみ

### ◆昭和48年10月

豊橋出身で丸善相談役の司忠氏から、満80歳を記念して、郷土豊橋のためにと、3,000万円が市に寄附される。

寄附金の使途を検討した結果、寄附者の司忠氏が一生を賭けてきたのが洋書事業であることなどから、洋書の文庫「司文庫」を創設することに決まる。

### ◆昭和49年11月1日

豊橋市民文化会館内の市立図書館に、司文庫を開設する。(蔵書数、9,296冊)

### ◆昭和57年10月31日

新設された中央図書館へ移転するため、司文庫の利用を休止する。12月までに移転作業を終える。

### ◆昭和58年2月23日

中央図書館開館。司文庫も従前より広くなって、2階に開設される。

### ◆昭和59年11月

「司文庫10年のあゆみ展」を開催。

### ◆昭和61年5月1日

司文庫の生みの親、司忠氏逝去。

司氏は、昭和48年以降も、司文庫の充実のため、毎年300～500万円の寄附をされ、総額は7,800万円にもなった。また永年にわたって収集した貴重な図書も多数寄贈され、司文庫の発展に心血を注がれた。

### ◆昭和61年10月30日

司忠氏逝去後、ご遺族より故人の意志を継いで司文庫等の資料充実のためにと、1億円が寄附される。

### ◆昭和61年12月23日

寄附された1億円により「司文庫基金」を設立。毎年この基金から生まれる収益を財源として、引き続き図書購入を図ることとなる。

### ◆昭和62年5月

「司忠氏回顧・司文庫展」を開催。

### ◆平成6年11月

「司文庫開設20周年記念展」を開催。

### ◆平成11年11月

「司文庫開設25周年記念展」を開催。

### ◆平成16年10月

「司文庫開設30周年記念展」を開催。

中央図書館では、司文庫の紹介を兼ねて、文庫の中から特色ある資料の展示を行う企画展を毎年行っている。